

駅前展示「生活福祉を考える衣食住展」

生活福祉科介護福祉専攻

田岡洋子

平成13年10月15日(月)～11月15日(木)の期間、JR福知山駅構内の市民ギャラリーにおいて「生活福祉を考える衣食住」展を例年とおりに行った。内容は主に生活福祉科介護福祉専攻の学生が制作した介護に関連したもので、学生自ら展示をし、搬出をしている。1ヶ月という永い期間であるために途中で展示換えを行い、市民の方々や、JR利用者にも楽しんで見ていただきたく思っている。内容は次のようなものです。

○高齢者や障害者の着脱を容易にする改良例と普段着・寝間着の提案

(実物及びグループ制作者名と説明入り)

○靴のデザイン画「デリケートな足にこんな靴は如何!!」

提案図とグループ制作者名と説明

○大きなシャボン玉をつくりませんか?写真と説明

鍋に精製水1000ccを40℃に暖め、

粉末ゼラチン5gを入れる、

台所用液体せっけん(脂肪酸カリウム)

250ccを加え、

ガムシロップ10cc、

サイダー(炭酸飲料)30cc、

ラム酒10cc、

バニラエッセンス少々入れると完成です。

粘りを出すために○○○○○を入れると

写真のような人間が入れるシャボン玉に

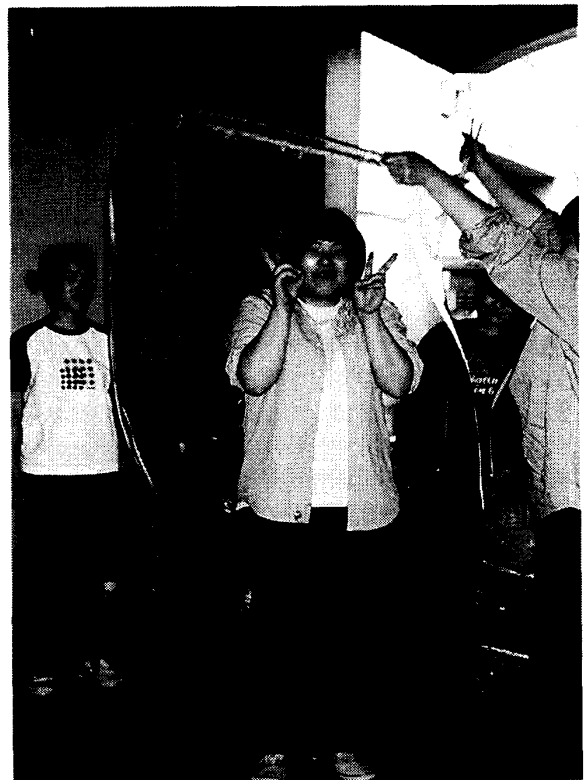
なります!!

○生活福祉と生活リハビリ・レクリエーション

制作実物と説明

◎介護の1つの目的に生活自立への支援があります。

そのためには身体と心のリハビリテーションを考える必要があります。





例えば 高齢者の場合は病気や
老いのために体力が衰えて
も人間としての誇りを大切
にし、社会の一員として生
きられることを支援します。

◎レクリエーション・リハビリな
どをよくすることは予防介護
につながります。

◎近代心理学では心の3側面のバ
ランスがとれていることが望
まれ、それらは

①知(知的) 大脳左脳 —— 判断分析能力

②情(情緒的) 大脳右脳 —— 悲しかったり、うれしかったりする感性能力

③意(意欲的) —— やる気

最近の傾向としては右脳より左脳の活動の多い人が多く、
より右脳を動かし楽しい生活をしたいです。

◎これらのことを考え「ハート&カラー」の演習をしました。

色による表現を93色の色紙からどんな色を使いますか？

自分の好きな色で紙を埋め尽くすことで、

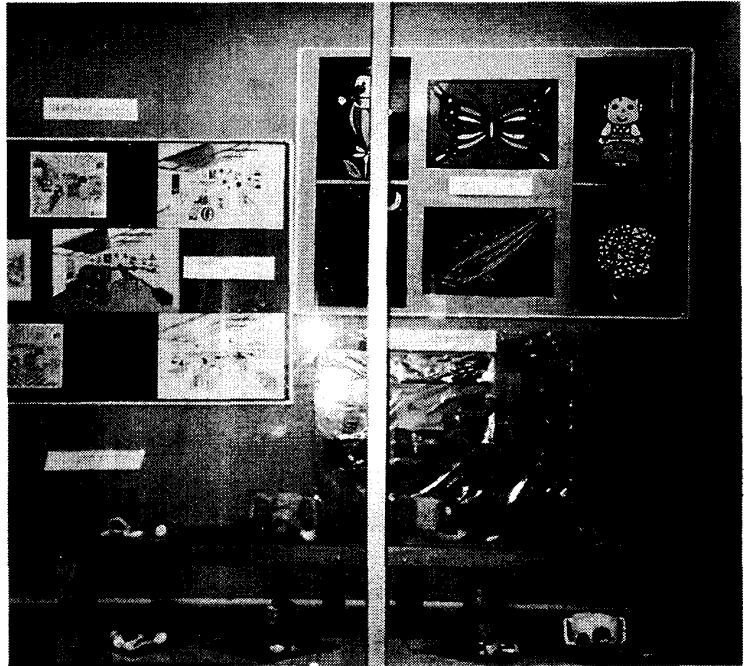
自らの心表現し、心をリラックスさせる効果

があります。その実例を示します。



○学生が考えたリハ・レク（KJ法による分類）考案例の説明及び図

- 1 純粹レクリエーション
- 2 見て楽しむ
- 3 言葉のゲーム
- 4 手を使って遊ぶ
(小道具なし)
- 5 小道具を使って遊ぶ
- 6 体を使って遊ぶ
(小道具なし)
- 7 投げて遊ぶ
- 8 作って遊ぶ
- 9 ゆっくり動く
- 10 体を使う（ゲームでない）
- 11 リハビリをかねたレクリエーション
- 12 見てやって楽しい



- 13 頭を使う
- 14 昔の遊び
- 15 作って遊ぶ（高齢者用）
- 16 作る
- 17 高齢には難しい
- 18 激しい運動
- 19 子供っぽい遊び

○絵文字を施設で生かす援助方法の試み

視覚による認識と誘導を優先した施設の試み

○切り絵・創作花瓶

福祉施設のサークル&クラブ活動に生かす

○自助具を考える；スプーン&フォーク

残存機能を生かした食生活

の工夫

○高齢者・障害者の為のキッチン

車椅子利用者が快適に使える台所空間の試み

なお、市民の方からの問い合わせがあるが、今回はグリーンのマントは裏向けに着せてあるのではないか？ との意見に、細かく見ていただいていることへのうれしさとシッカリした完成品を展示せねばならないことに痛感した。それまでは「あんなリフォームした服を造ってほしいのですが——」という問い合わせがよくあったが、その度に申し訳なく、提案のみでお断りをしてきた。以前よりあるマネキン（若者タイプ）を使用しているので、高齢者用の衣服提案をしているが、イメージがいまひとつマッチしていないと思っている。